第 9 講 【系統地理編】第三次産業

PART 1 第三次産業の発展，商業

Chapter 1　産業構造の高度化と，第三次産業

目標

「産業構造の高度化」とは何か，理解しよう。

現在の日本の産業別就業人口割合の傾向を知ろう。

1　産業構造の高度化

・〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕：経済発展に伴い，国内での主力産業が，**第一次産業→第二次産業→第三次産業**と変化すること。

・一般的に，**収益性**は**第**〔　　〕**次産業**で低く，**第**〔　　〕**次産業**で高い傾向にある。産業構造が高度化する中で，**1 人当たり GNI** は上がっていく。

区分	特徴	業種の例
第一次産業	直接自然から生産物を得る産業。	〔　　　　　　　　〕業
第二次産業	原材料を加工して付加価値をつくり出す産業。	〔　　　〕業
第三次産業	第一次産業，第二次産業に分類されない産業。	商業・サービス業

2　産業別就業人口割合

・国の経済的な発展と産業別就業人口割合には密接な関係がある。

→ 1 人当たり GNI が**低い**国では，**第**〔　　〕**次産業**就業人口割合が高い。

→ 1 人当たり GNI が**高い**国では，**第**〔　　〕**次産業**就業人口割合が高い。

1. 第一次産業の就業人口割合の高さに特徴がある国

・産業基盤が弱く，人口の多くは収益性の低い〔　　　　〕を中心とした産業に従事している。

	第一次産業（%）	第二次産業（%）	第三次産業（%）	1 人当たりGNI（ドル）
エチオピア	**66.7**	10.0	23.3	850
ネパール	**65.6**	14.9	19.5	1,230

（各産業の就業人口割合は 2018 年のもの。1 人当たり GNI は 2019 年のもの。）

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。）

2. 第二次産業の就業人口割合の高さに特徴がある国

・賃金水準や土地が安いため周辺地域から**工場**が進出し,〔　　　　　　　〕が発達する。
・**チェコ**は**ドイツ**から,〔　　　　　　　　〕は**アメリカ合衆国**から工場が進出している。

	第一次産業(%)	第二次産業(%)	第三次産業(%)	1 人当たりGNI(ドル)
チェコ	2.8	**37.5**	59.7	21,930
メキシコ	12.8	**26.1**	61.1	9,480

(各産業の就業人口割合は 2018 年のもの。1 人当たり GNI は 2019 年のもの。)
(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。)

3. 第三次産業の就業人口割合の高さに特徴がある国

・経済レベルが高く,〔　　　　〕や金融業,**知識産業**など収益性の高い産業が発達する。

	第一次産業(%)	第二次産業(%)	第三次産業(%)	1 人当たりGNI(ドル)
イギリス	1.1	18.1	**80.8**	42,130
シンガポール	0.7	15.8	**83.5**	58,390

(各産業の就業人口割合は 2018 年のもの。1 人当たり GNI は 2019 年のもの。)
(『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。)

3 日本の産業別就業人口割合

・日本では,**高度経済成長期**以降に**第**〔　　〕**次産業**の就業人口割合が大きく上昇した。
・〔　　　　〕に従事する人が多いが,**医療**・福祉や宿泊・飲食などの**サービス業**のほか,近年は ICT の発展によって**情報通信業**の従事者も増加している。

	第一次産業(%)	第二次産業(%)	第三次産業(%)
1950年	48.6	21.8	29.7
1970年	19.3	34.1	46.6
1990年	7.2	33.5	59.4
2010年	4.2	25.2	70.6

(『数字で見る日本の 100 年』により作成。)

まとめ
経済成長により,国の主な産業が第一次→第二次→第三次と変化すること。
経済が発展しており,約 7 割の人が第三次産業に従事する。

Chapter２　商業

目標
最寄り品・買い回り品に該当する商品と，それらを扱う店舗の商圏の違いを理解しよう。
地方都市の駅前の光景は，時代を経てどのように変化したか考えよう。

1　商業とは

・〔　　　〕**業**：商品を売って利益を得る業種。**生産者**から**消費者**へと商品がもたらされる流れを〔　　　　　〕という。

・商業は，〔　　　　　〕**業**と〔　　　　　〕**業**に大別される。

業種	特徴	売り上げの傾向
卸売業	生産者から仕入れた商品を，**小売業**へ販売する。	地域の中心的な都市に立地し，販売額が大きい。
小売業	**消費者**に商品を販売する。	卸売業より販売額は小さい。

・**小売業**は扱う商品の**種類**によって，立地や**商圏**に傾向の違いが見られる。

商品の種類	商品の例	商品を扱う店舗とその特徴
〔　　　　　　　　〕	**生鮮食料品・日用品**	**スーパーマーケット・コンビニエンスストア** →人々の居住地の近くに立地。〔　　　　　〕が**小さく**，規模の小さい店舗が多い。
買い回り品	**高級品・耐久消費財**	**デパート・専門店** →地域の中心となるターミナル駅周辺や，幹線道路沿いに立地。商圏が**大きい**。

2　日本の小売業の立地の変化

1. 江戸時代

・城の周囲に**城下町**が，街道沿いに**宿場町**が成立。

・人が集まる町の近くに**小売店**が立地し，商業が活性化。周辺地域の交易の中心地となった。

2. 明治～昭和

・〔　　　　〕の敷設により主要都市に**駅**がつくられ，市街地化が進行した。

・駅前や中心市街地に，〔　　　　　　　　〕や大きな**商店街**が誕生した。

3. 1990 年代以降

・〔　　　　　　　　〕の普及で**モータリゼーション**が進展。

・郊外の幹線道路沿いに，広い駐車場を備えた**ロードサイド**型の**ショッピングセンター**がつくられた。

4. 現在

・〔　　　　　　　　　　　　　　〕の普及・ICT の発展により〔　　　　　　　　〕が広まっている。

・特に，**オンライン**での**電子商取引**が増加。

3　現代の小売業の課題

・**地方都市の中心部**では，ロードサイド型のショッピングセンターに客が流れたことやオンラインショッピングの普及で，駅前の**デパート**などが閉店。中心商店街は「**シャッター通り**」になるケースも見られる。

・**農村部**では人口減などを背景に，地域の**小規模店舗**が閉店。公共交通機関が限定的である場合も多く，自家用車を持たない人々への影響が特に大きい。

・都心部では地価の高騰などを背景に，小規模店舗が閉店することがある。

　→〔　　　　　　　　　　　　　〕(食料砂漠)：**生鮮食料品**などの入手が困難になること。

まとめ

最寄り品とは日用品などで，商圏の小さいスーパーマーケットなどで取り扱う。買い回り品とは高級品などで，商圏の大きいデパートなどで取り扱う。かつてはデパートがつくられるなどにぎわったが，現在は客足が遠のいている場所も多い。

第 9 講　PART 1　確認問題

1 第三次産業に該当するものはどれか。

① 林業　② 水産業
③ 工業　④ サービス業

2 第一次産業就業人口割合が 66.7% である国はどこか。

① エチオピア　② 韓国
③ スペイン　④ メキシコ

3 シンガポールの第三次産業就業人口割合はどれか。

① 23.5%　② 43.5%
③ 63.5%　④ 83.5%

4 日本の産業別就業人口割合について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 1950 年においては，第一次産業就業人口割合は約 50% であった。
② 第二次産業就業人口割合は高く，現在も全体の過半数を占めている。
③ 第三次産業就業人口割合は，高度経済成長期以降に大きく上昇した。
④ 近年は ICT の発展によって，情報通信業の従事者も増加している。

5 卸売業と小売業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 卸売業は，生産者から仕入れた商品を小売業へ販売する業態をいう。
② 卸売業は地域の中心的な都市に立地し，販売額が大きい。
③ 小売業は，消費者に商品を販売する業態をいう。
④ 小売業の販売額は，卸売業の販売額よりも大きい。

6 買い回り品を取り扱う店舗の正しい組み合わせはどれか。

① 専門店とデパート
② コンビニエンスストアと専門店
③ スーパーマーケットとデパート
④ コンビニエンスストアとスーパーマーケット

7 小売業の立地の変化について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 江戸時代に，城の周囲に城下町が，街道沿いに宿場町が成立した。
② 明治時代から昭和時代にかけて，駅前や中心市街地にデパートが誕生した。
③ 1980 年代以降，自家用車の普及で都心部を中心にショッピングセンターがつくられた。
④ 現在では，オンラインでの電子商取引が増えている。

8 現代の小売業について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 地方都市の中心部では，駅前のデパートなど大型店舗が閉店するケースが目立っている。
② 小規模店舗の閉店は，人口流出の著しい農村で起こっており，都心では起こっていない。
③ 生鮮食料品などの入手が困難になることをフードデザートという。
④ モータリゼーションの進展で，地方都市ではロードサイド型のショッピングセンターへ客足が流れている。

第9講　PART１　確認問題 解答

1 解答：④

サービス業が**第三次産業**である。サービス業は，さまざまなサービスを提供する業種で，金融業，医療，福祉などが含まれる。

2 解答：①

第一次産業就業人口割合の高い国は，主に産業基盤が弱い**発展途上国**が該当する。**エチオピア**の第一次産業就業人口割合は，66.7%である（2018年）。

3 解答：④

第三次産業の就業人口割合の高い国は，主に経済的に発展した先進国が該当する。シンガポールの第三次産業就業人口割合は**83.5%**である（2018年）。

4 解答：②

日本では，工場の海外進出などで**第二次産業就業人口割合**は**減少し**，2010年の段階で25%ほどである。現在の日本では第三次産業就業人口割合が極めて高く，約70%を占める。

5 解答：④

小売業の販売額は，卸売業の販売額よりも**小さい**。卸売業は小売業のいわば上流にあたり，卸売業の商圏は小売業の商圏よりも広い。

6 解答：①

買い回り品とは高級品・耐久消費財などで，**デパート**や**専門店**が取り扱う。

7 解答：③

1990年代以降，自家用車の普及で**郊外**を中心に，広い駐車場を備えた**ロードサイド型のショッピングセンター**がつくられた。これにより地方都市の中心部では，商店街が「シャッター通り」になるケースも見られる。

8 解答：②

都心部においても**地価の高騰**などを背景に，**小規模店舗が閉店**するケースは見られる。